

# 会議要録

No. 1

<p>会議名称 第6回 東大和市立第七小学校・第九小学校 統合検討会議</p>	<p>開催日時 2023年10月18日 15時30分～17時00分</p>	<p>開催場所 東大和市立第九小学校 Qカフェルーム</p>
<p>出席者</p>	<p>(委員) 吉村委員、溝口委員、岩井委員、藤井委員、菊地委員、北元委員、城所委員、中村委員、木下委員、木内委員、星野委員、石井委員、相澤委員、野村委員、田中委員、半田委員、内野(雄)委員、吉田委員、内藤委員、別所委員、小野委員、本田委員 (事務局) 小俣教育部長、小野教育部参事(教育指導課長事務取扱)、中橋学校施設更新等担当課長、大野新校開設担当課長、石川青少年課長、遠藤公共施設等マネジメント課長</p>	
<p>議題</p>	<p>1 東大和市立第七小学校・第九小学校統合新校建設基本構想(案)について 2 今後のスケジュールについて</p>	
<p>公開・非公開の別</p>	<p>公開</p>	
<p>傍聴人</p>	<p>なし</p>	
<p>会議内容</p>		
<p>■開会</p>		
<p>■会議</p>		
<p>会議内容(議事)</p>		<p>回答</p>
<p>1 東大和市立第七小学校・第九小学校統合新校建設基本構想(案)について</p>		
<p>意見1</p>		
<p>少子化で子どもは減っているが、特別支援学級の子どもたちが 増えている中で、限られた面積の中で工夫いただいたことについて 安心した。</p>		
<p>意見2</p>		
<p>学童について、仮校舎使用時は七小の児童は第七クラブに通うのか。</p>		<p>回答2 令和8年4月から仮校舎使用時は既存の 第七クラブと第九クラブを活用を考えている。</p>
<p>学年で分けるか、住んでいる地域で分けるか 等については、今後検討する。</p>		
<p>新校建設後は、新校に整備する学童と現在の 第七クラブを併用する。</p>		
<p>意見3</p>		
<p>放課後子ども教室について、統合すると両校の児童が利用することに なるが、運用はどうなるのか。部屋の大きさは大丈夫なのか。</p>		<p>回答3 大きさについては問題ないと考えている。 運用は今後検討していく。</p>
<p>意見4</p>		
<p>集会所の統廃合はどうなるのか。地域にも集会所は必要と考える。</p>		<p>回答4 公共施設等総合管理計画に則して、地域の 皆様に説明していくことが必要と考えている。 今後も引き続き説明を行っていく。</p>
<p>意見5</p>		
<p>この基本構想(案)は、どのようなところで使用されるのか。</p>		<p>回答5 基本構想(案)は、今後、市議会にて説明を 行い、パブリックコメント、市民説明会を 経て、令和6年1月末に策定予定である。 その後公表し、内容に基づいて実際の設計に 入っていく予定である。</p>
<p>意見6</p>		
<p>児童・保護者アンケートの結果を載せる予定はないのか。</p>		<p>回答6 基本構想(案)8ページ以降に一部掲載して いる。また、前回会議で配布した報告書は 市の公式ホームページに掲載しており、 皆さまにご覧いただける。</p>
<p>意見7</p>		
<p>青少対で使用している倉庫等の置ける場所を必ず確保して頂きたい。</p>		<p>回答7 法的に(建築確認)出来る出来ないがあり、 置けることをお約束することは難しい。 倉庫内のものを今後どうしていくか等、 一緒に検討していきたいと考える。</p>
<p>委員長</p>		
<p>基本構想(案)については、本日の意見を踏まえ、事務局で案として内容を固めさせて頂く。</p>		

会議内容（議事）	回答
2 今後のスケジュールについて	
意見1	回答1
この統合検討会議は、令和6年1月で終わりということか。	この会議は、基本構想を策定するためにご意見をいただく会議であるため、令和6年1月で終了となる。
意見2	回答2
パブリックコメントや市民説明会は大人がメインとなると思うが、今実際に通っている七小や九小の子どもたちに説明する予定はあるのか。一年生は新校舎に通う可能性があるので、子どもたちにも内容を説明することをご検討頂きたい。	現時点で予定はしていない。意見を踏まえ、検討していく。
3 その他	
意見1	回答1
特別支援の関係で、現在、東大和市では情緒教室はないが、今回の計画ではどのように考えているか。	この基本構想（案）では、現在七小と九小に設置のある特別支援教育を検討している。情緒については想定していない。
意見2	回答2
基本構想（案）の36ページにある平面計画は、新しい校舎のイメージとして決まっているということでのよいのか。	基本構想（案）として、イメージとして決まっている。
意見3	回答3
この校舎の計画に対して、インクルーシブ教育をどのように考えているのか。特別支援学級が普通教室と離れており、孤立しているように感じる。	現場の意見を踏まえ、特別支援学級の児童が校庭に出やすい環境であったり、光庭を活用できる配置をイメージしている。また、多目的室を利用した普通教室との交流活動等を想定している。
意見4	回答4
特別支援学校の副籍交流では、普通教室のクラスと交流するので、障害のある子どもたちの教室への行きやすさや、車椅子も様々な形があるので、地域のお友達と交流したり学べるよう、ハード面でのバリアはできるだけ少なくして頂ければ、交流に繋がっていくのかなと期待している。	環境によって交流がままならないことがないよう、整備方針や平面計画に基づいて実際の設計で検討していく。また教室がフレキシブルに使用できるような環境を検討していきたいと考えている。
委員長	
基本構想（案）については、本日の意見を踏まえ、事務局で案としてまとめ、スケジュールに沿って進めさせて頂く。	
小俣教育部長	
これまで皆さまにご意見を頂き、基本構想（案）としてここまでまとめることができたことに感謝申し上げます。基本構想（案）として、今後、市議会や市民の皆様への説明を行い、意見を頂きながら進めていく。令和6年1月に統合検討会議を開催し、案を取りたいと考えている。引き続きよろしくお願ひしたい。	
・第7回統合検討会議：令和6年1月 第七小学校にて予定	